

「スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケート」2023 の考察について

回答が得られた人数・回収率(小数点以下四捨五入)

〈保護者アンケートより〉

小学校 1年 199人 2年 236人 3年 246人

4年 240人 5年 253人 6年 285人 計 1,459人

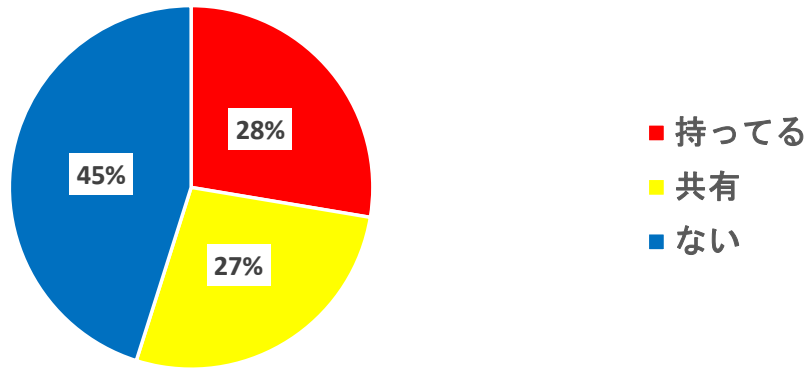
1,459人(回答数)/3,255人(全児童数) 回収率 45%

中学校 1年 245人 2年 240人 3年 232人 計 717人

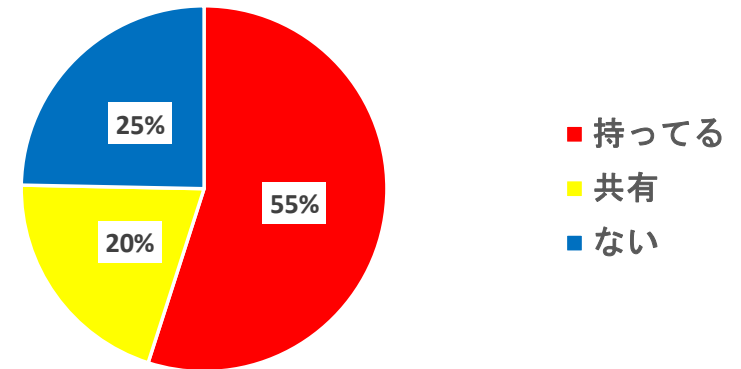
717人(回答数)/1,533人(全児童数) 回収率 47%

問①お子様が使える携帯電話（スマホ等）はありますか？

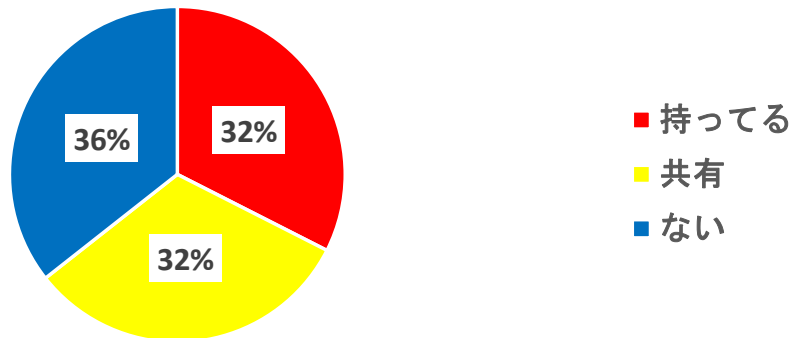
小学生保護者



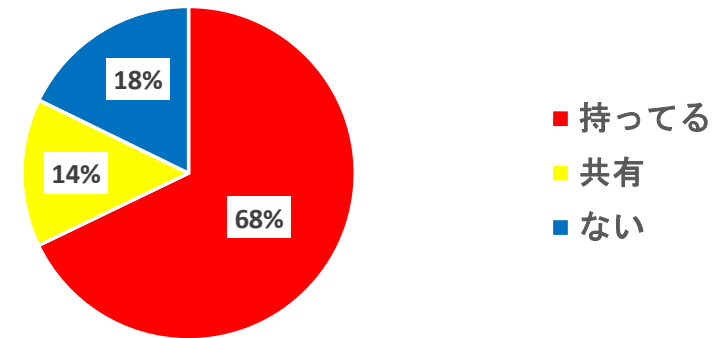
中学生保護者



小学生回答



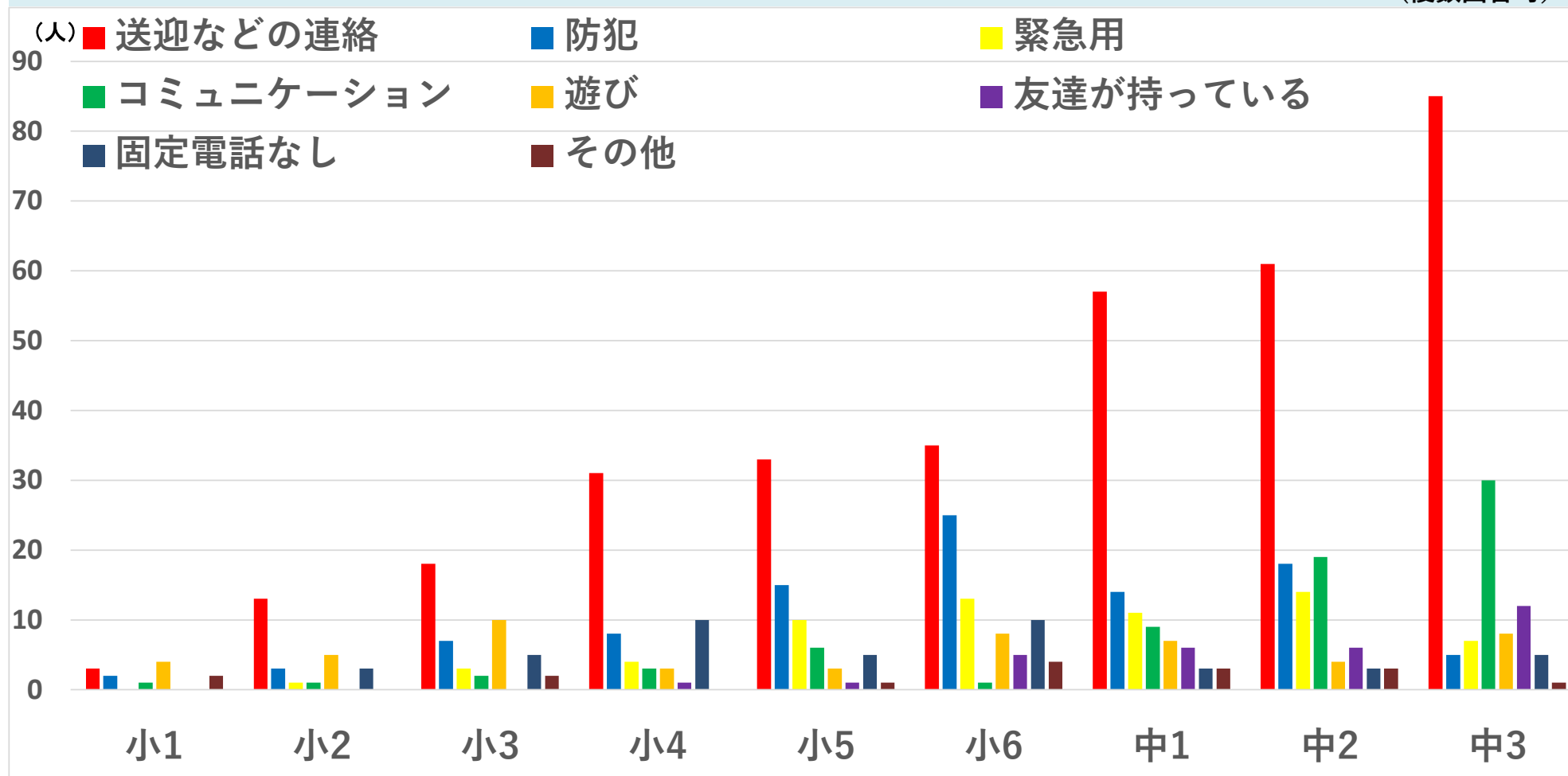
中学生回答



保護者と子どもの回答結果に差がある。保護者は保護者所有と以为しても子どもは「自分の物」と捉えている。また、保護者所有の携帯電話を保護者が認識している以上に子どもが使っている。

問①-2 どのような理由（目的）で携帯電話（スマホ）を持たせていますか？

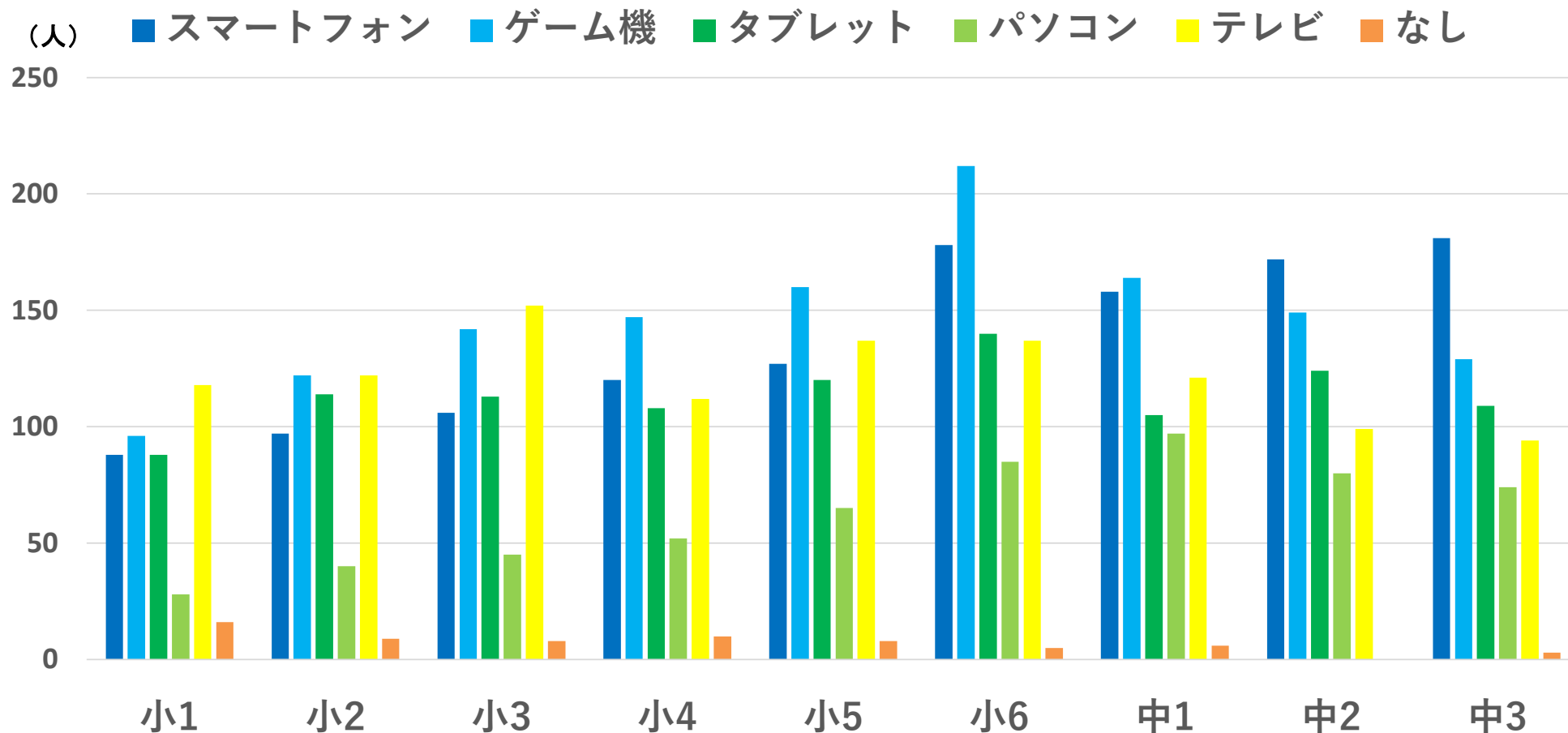
（複数回答可）



「送迎などの連絡」が多い。中学生になると「コミュニケーション」が増えてくるが、トラブルも多いため注意する必要がある。

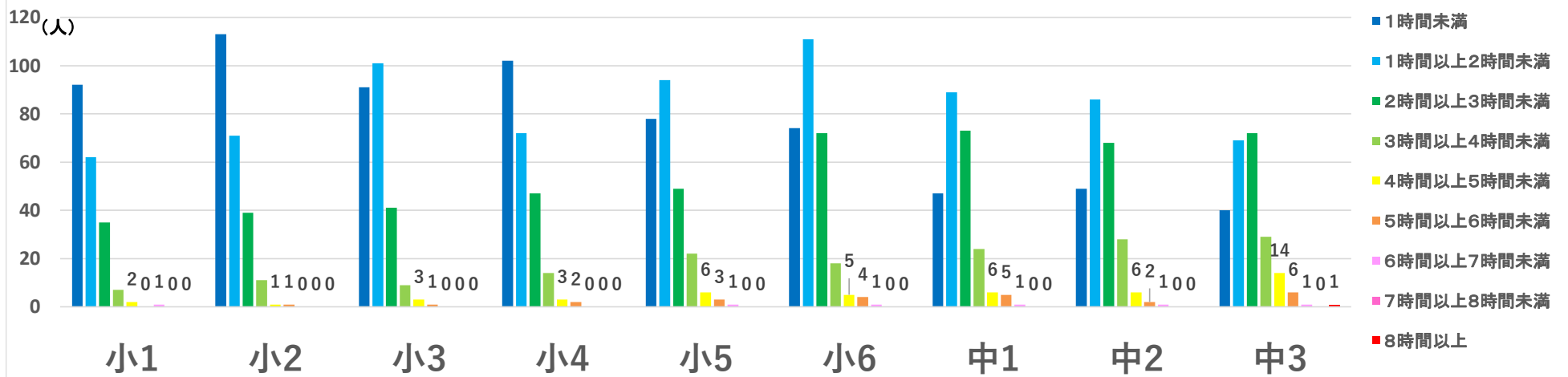
問②お子様が利用できるインターネット環境は何ですか？

(複数回答可)

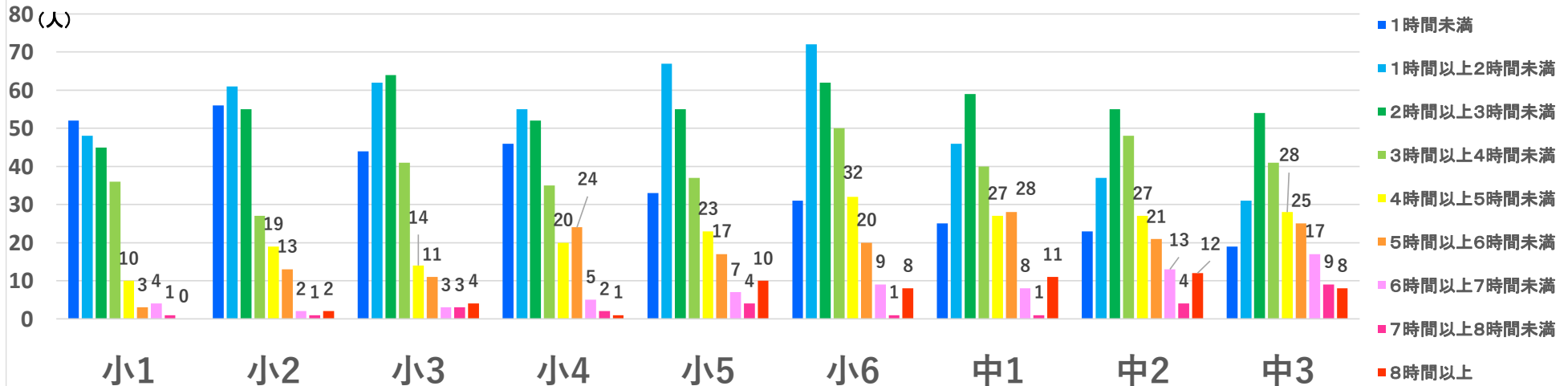


小学生ではゲーム機でインターネット接続が多い。ゲーム機等からのアクセスの問題点について十分に理解できていない状況もあり、この点を特に重視して啓発を進める必要がある。

問③-1 平日（SNSやゲーム、動画視聴など、学習以外で使う時間）

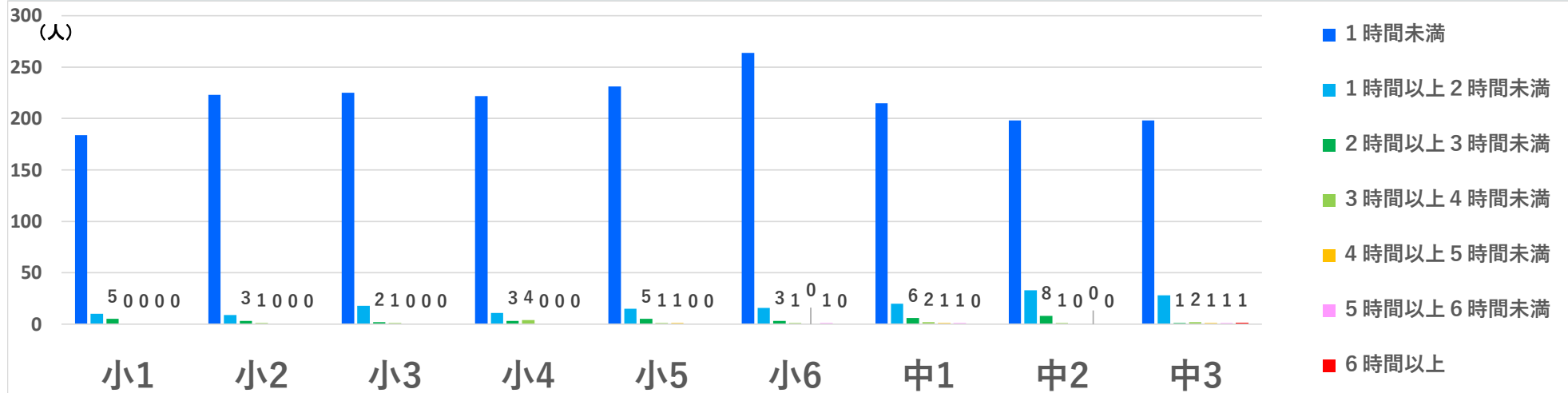


問③-2 休日（SNSやゲーム、動画視聴など、学習以外で使う時間）

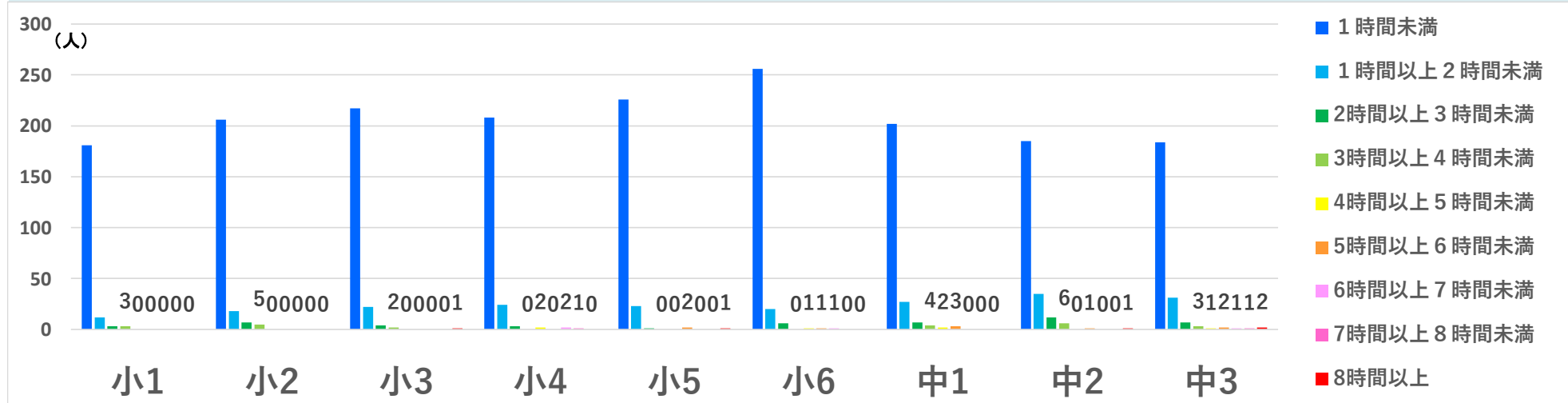


平日・休日ともに、保護者は子どもの長時間使用の実態を認識している。保護者がコントロール出来ない家庭があると考えられ、大変心配な状況である。

問③-3 平日（家庭学習でパソコン、タブレット等のICT機器を使う時間）

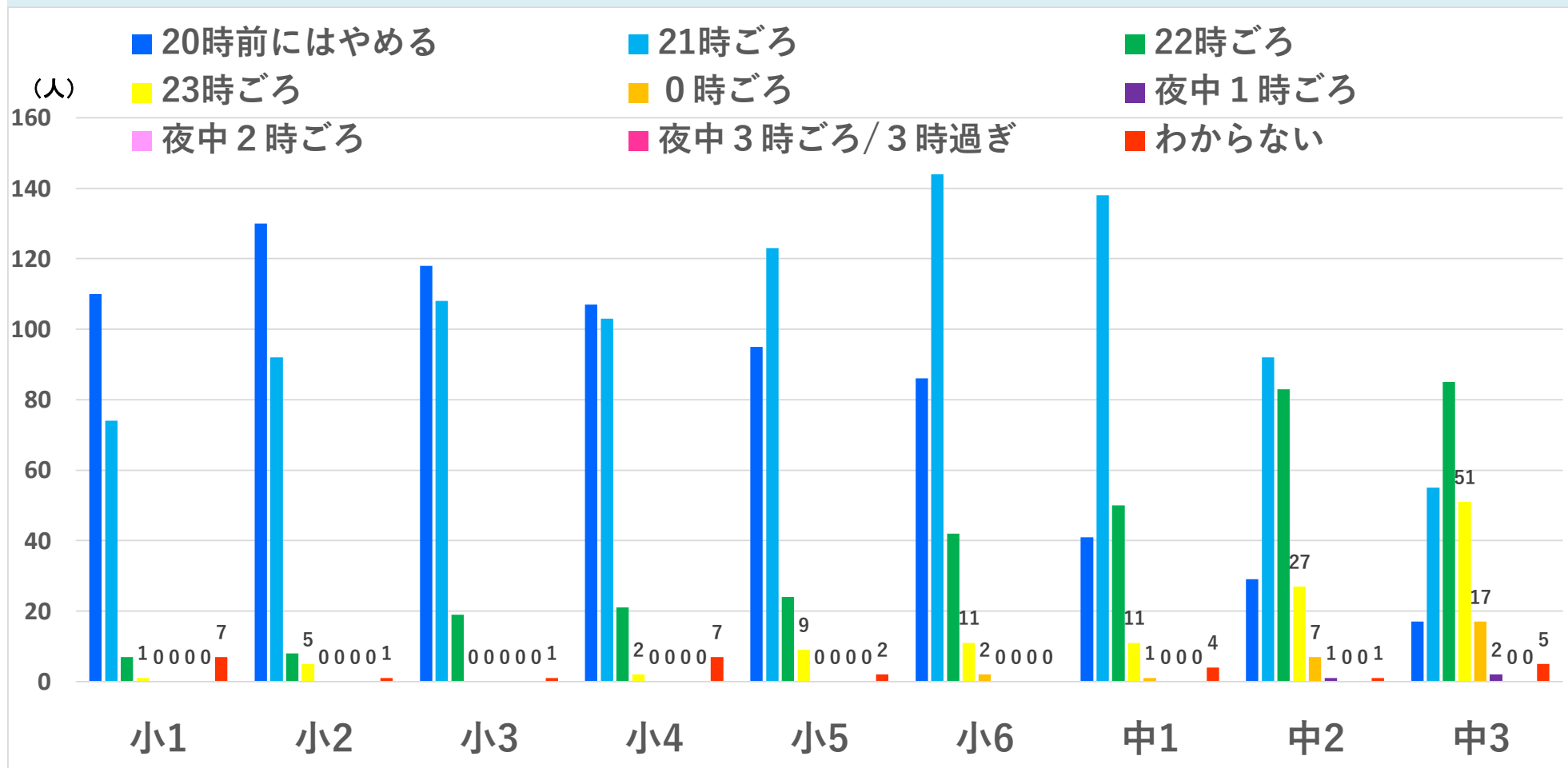


問③-4 休日（家庭学習でパソコン、タブレット等のICT機器を使う時間）



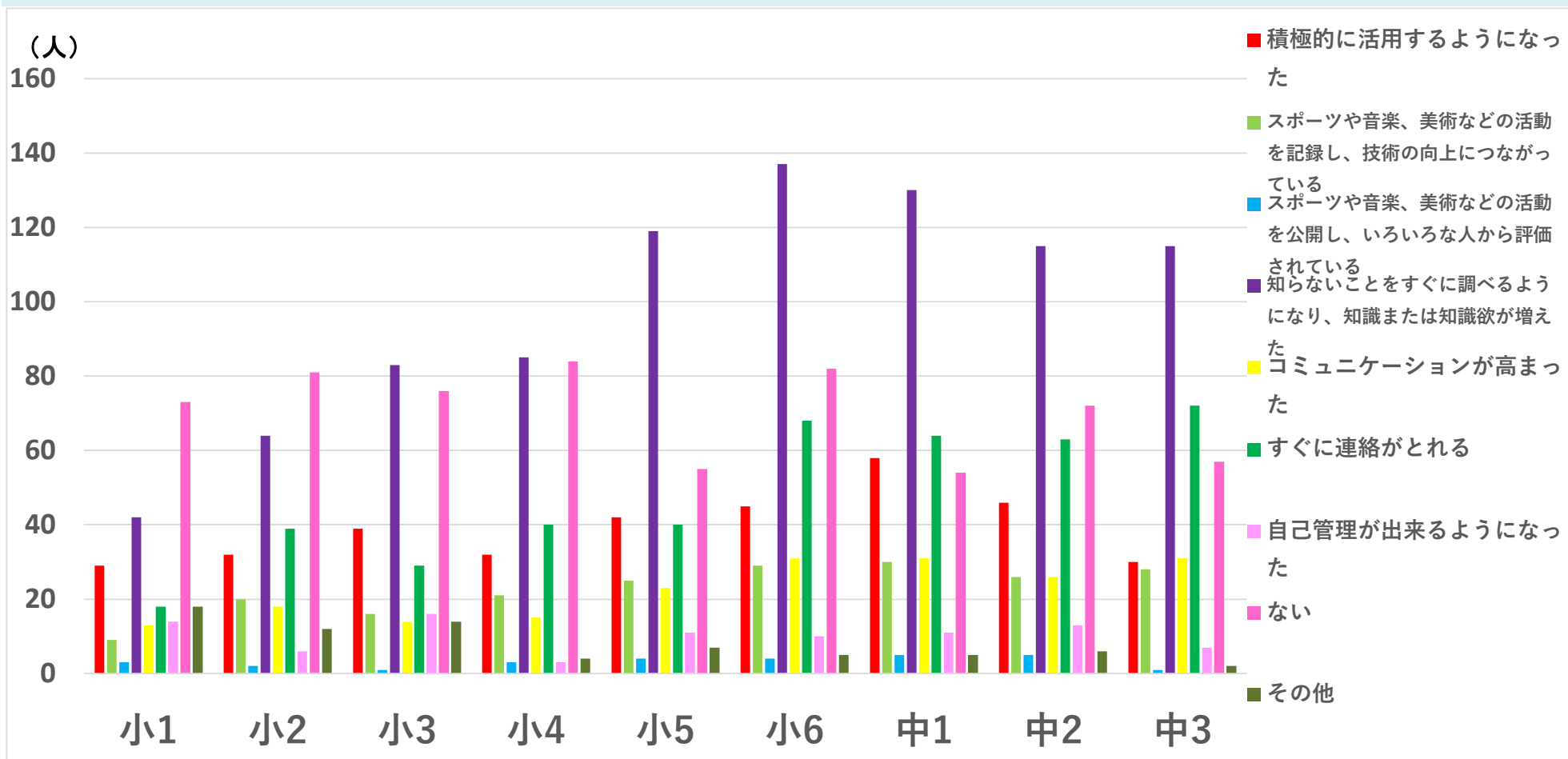
平日、休日ともに学年を問わず、家庭学習でICT機器を使う時間は少ない。

問④お子様は平日の夜、ゲームや動画視聴、SNSなどを何時頃までやっていますか？



平日は、中学1年生までのほとんどが21時頃までの使用である。小学生の23時以降使用や中学生の深夜使用は、睡眠不足で学校生活に影響があるのではないかと心配になる。児童の使用時間を把握していない保護者がいることから更に啓発が必要。

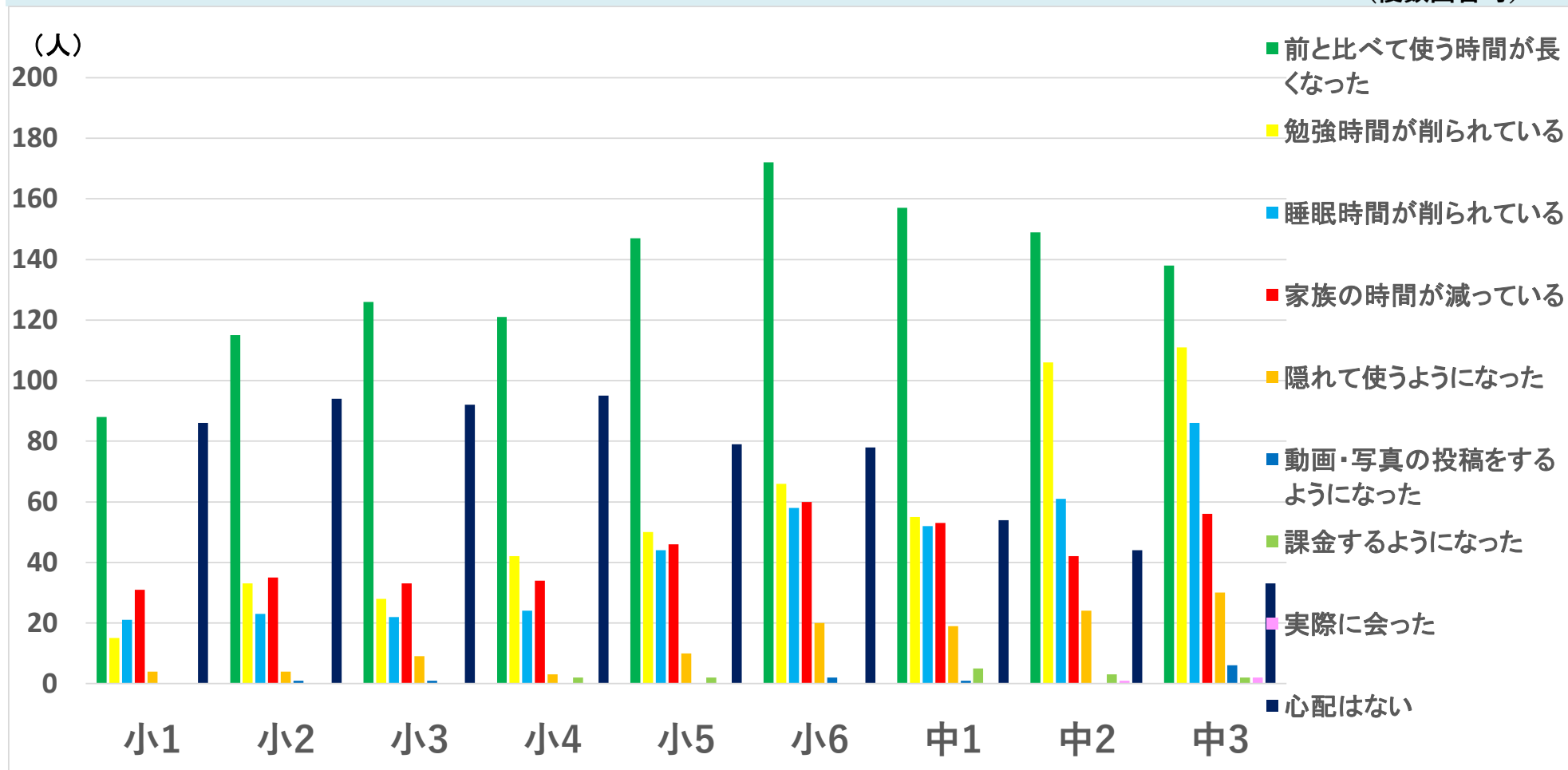
問⑤お子様がスマホやパソコン、タブレット等を使うようになって良かったと感じていることは？
(複数回答可)



学年が上がるにつれて「すぐに調べる、知識または知識欲が増えた」が増える。小学校高学年より「すぐに連絡が取れる」が多い。保護者の3割が「ない」の回答で否定的な思いがある。子ども自身の活動としてのICT機器活用があることも明らかである。

問⑥お子様のインターネットやゲーム機等の使い方に関して心配なことは？

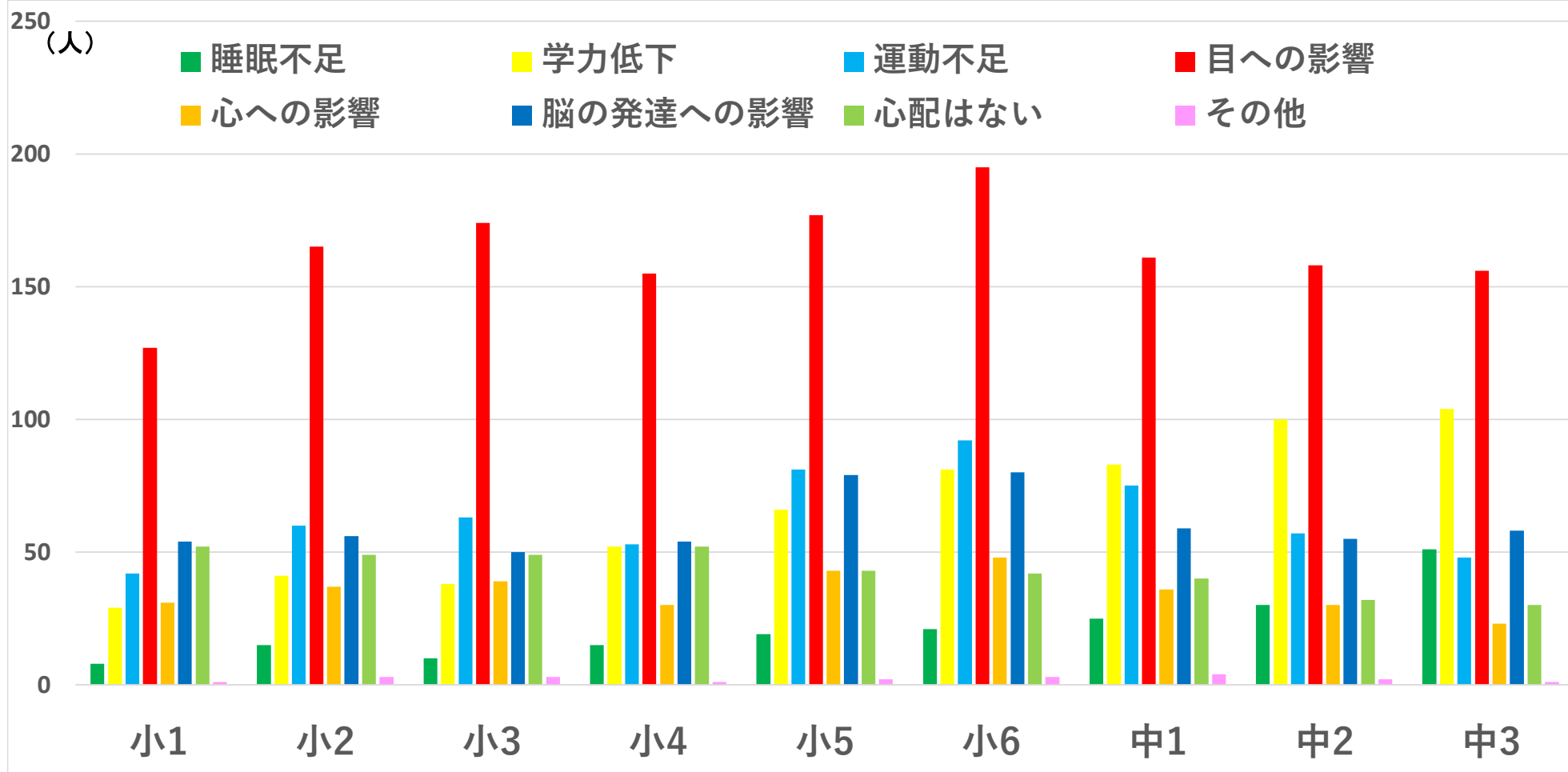
(複数回答可)



「使用時間の増加」を心配する意見が一番多い。中学生では「勉強時間や睡眠時間が削られている」ことを心配している保護者が多くなる。一定数「家族と一緒に過ごす時間や会話が減っている」と心配する保護者がいる。

問⑦お子様のインターネットやゲーム機等の利用について健康面などで心配なことは？

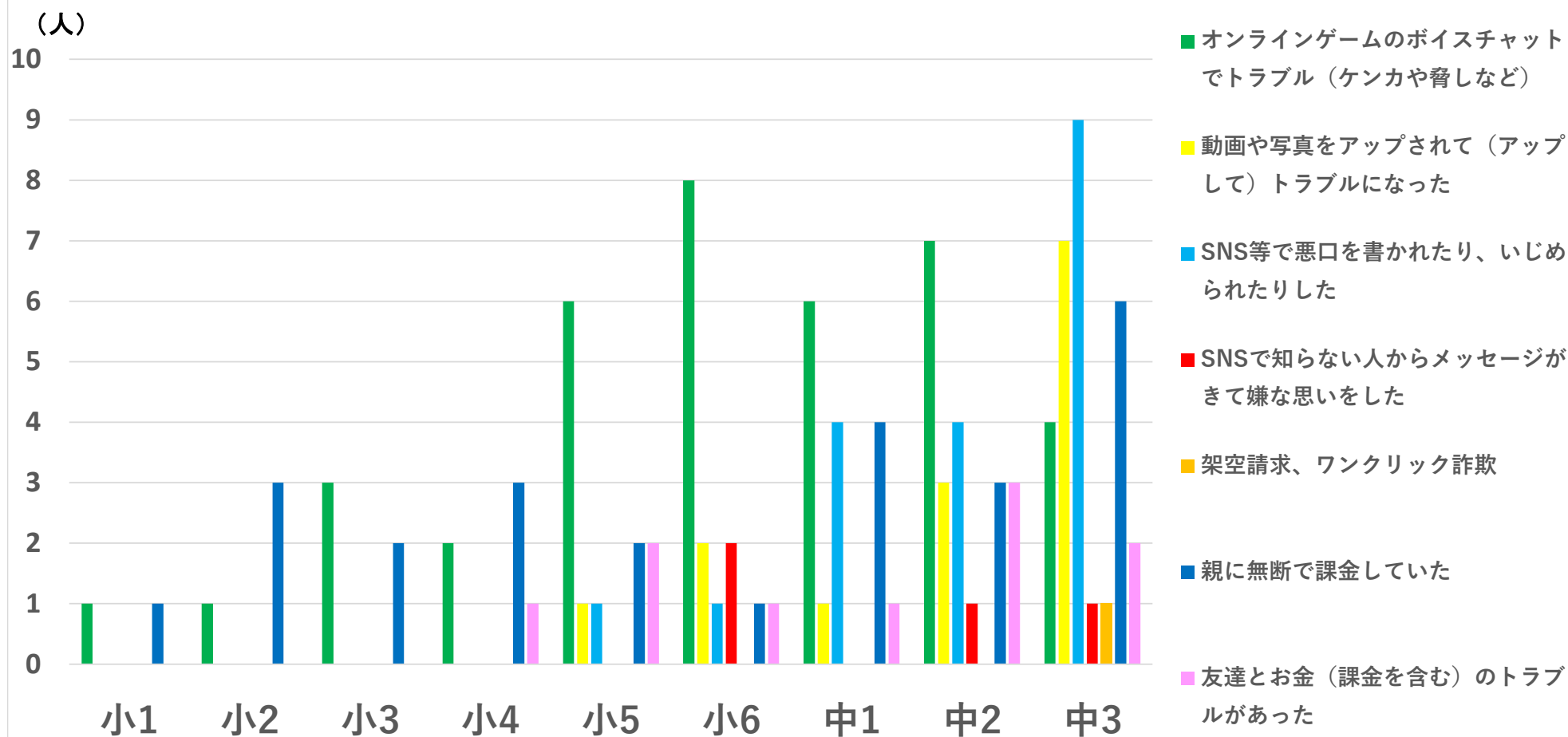
(複数回答可)



眼への影響を心配する保護者が1番多い。小学校の保護者は心や体の成長、中学生の保護者は学力低下を心配している傾向がある。「約束やマナーを守っているので心配はない」家庭も一定数ある。

問⑧お子様に実際にトラブルが起きたことはありますか？

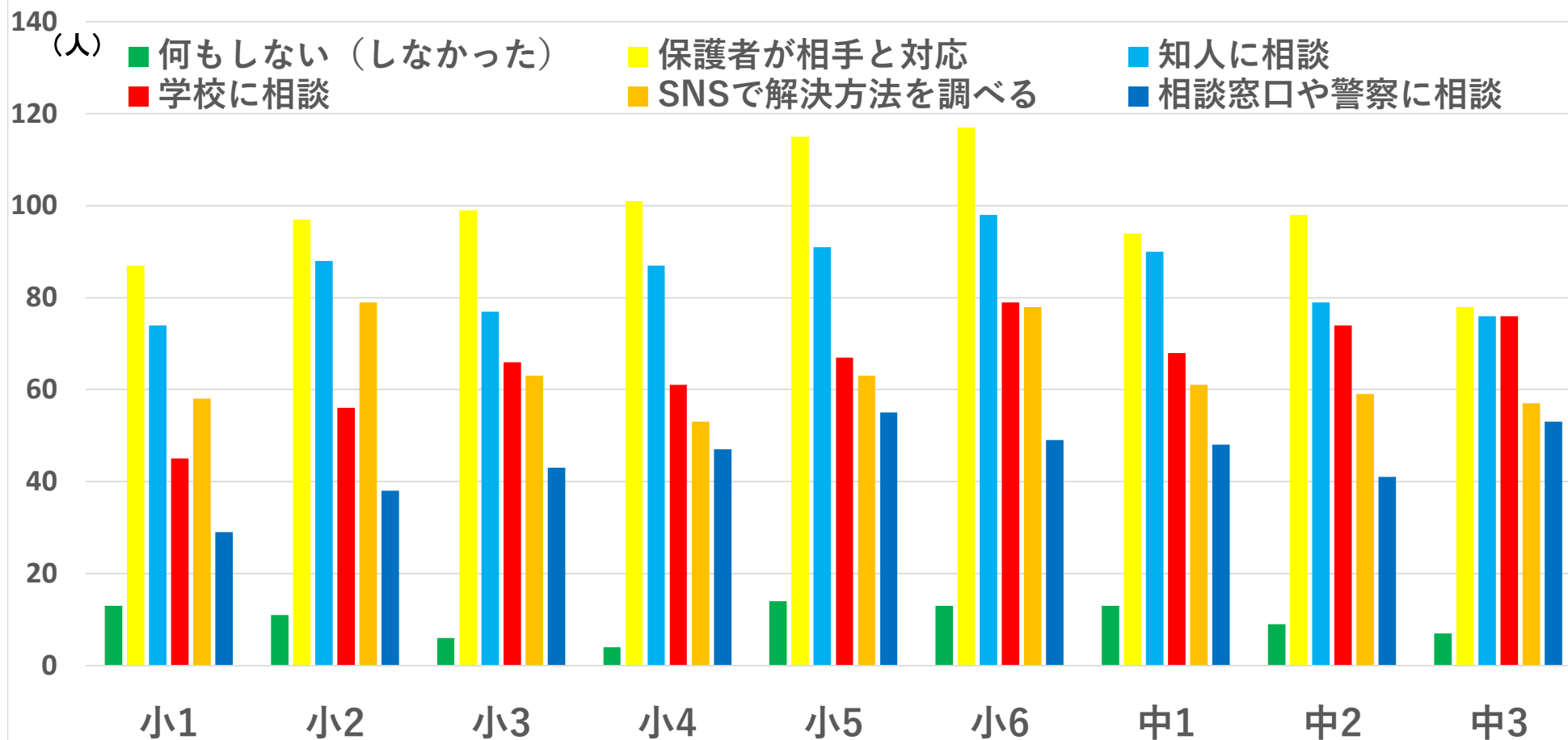
(複数回答可)



トラブルの件数は少ないが、全学年ゲームのボイスチャットと課金のトラブルが見られる。また、中学生になるとSNS関係のトラブルが急増することから、家庭などで子どもが相談しやすい環境づくりが必要。

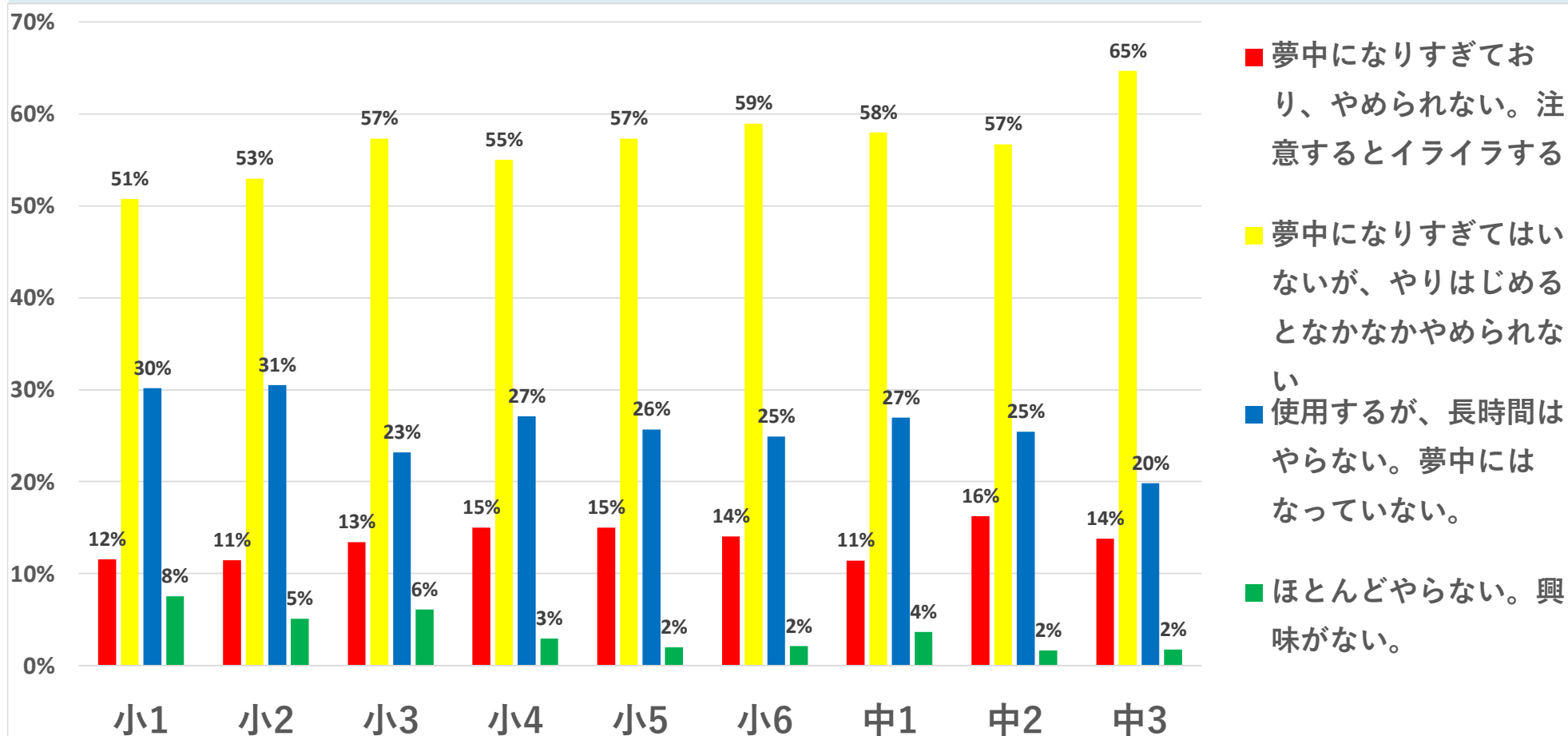
問⑨お子様に実際トラブルが起きたらどうしますか（どうしましたか）

（複数回答可）



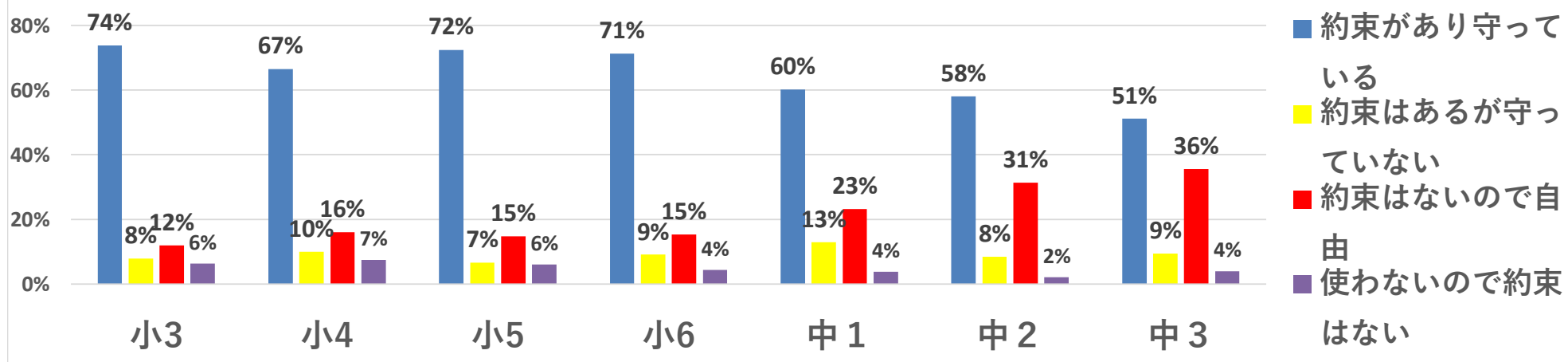
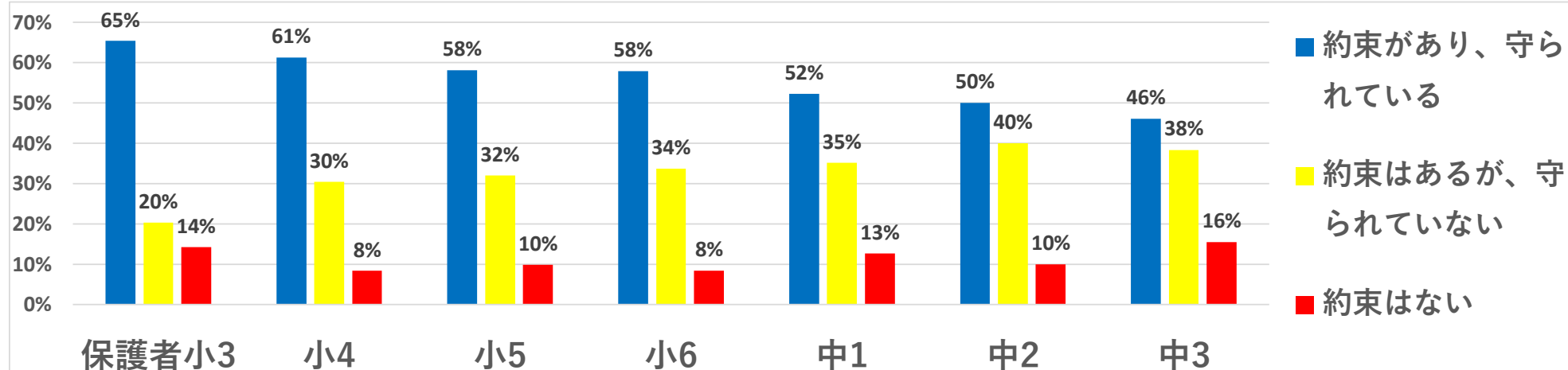
「保護者が相手と対応」が一番多い。次に「知人」「学校」に相談するが続き、ネットのトラブルを「SNS」で検索する人も多い。一定数「何もしない」がいるので心配。

問⑩お子様はスマートフォンやゲーム、インターネット等にどのくらい夢中になっていますか？



全学年の1割以上が「夢中になりすぎており、やめられない」と回答しており、ネット依存になっている可能性が大きいと考えられる。「夢中になりすぎてはいないが、なかなかやめられない」も含めると7割以上がネット依存症予備軍と考えられる。

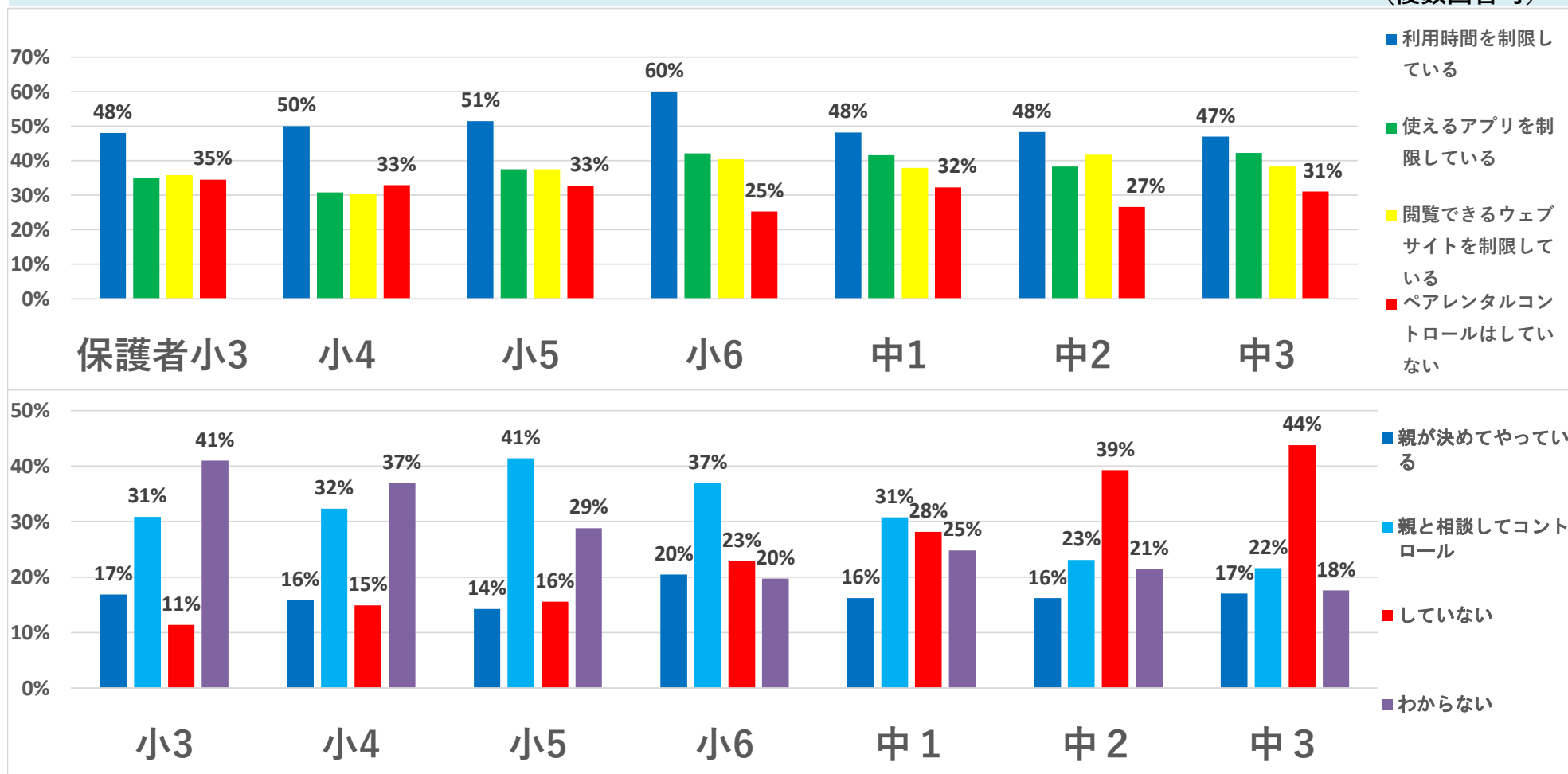
問⑪お子様のインターネットやゲーム機等の使用について、家庭での約束があり、守られていますか？



保護者の8～16%が「約束はない」と回答しているが、子どもたちは18～40%「約束はない」と思っており、約2倍の回答がある。保護者と子どもで「約束」の認識にズレがみられ、大切さを含めて啓発が必要と考えられる。

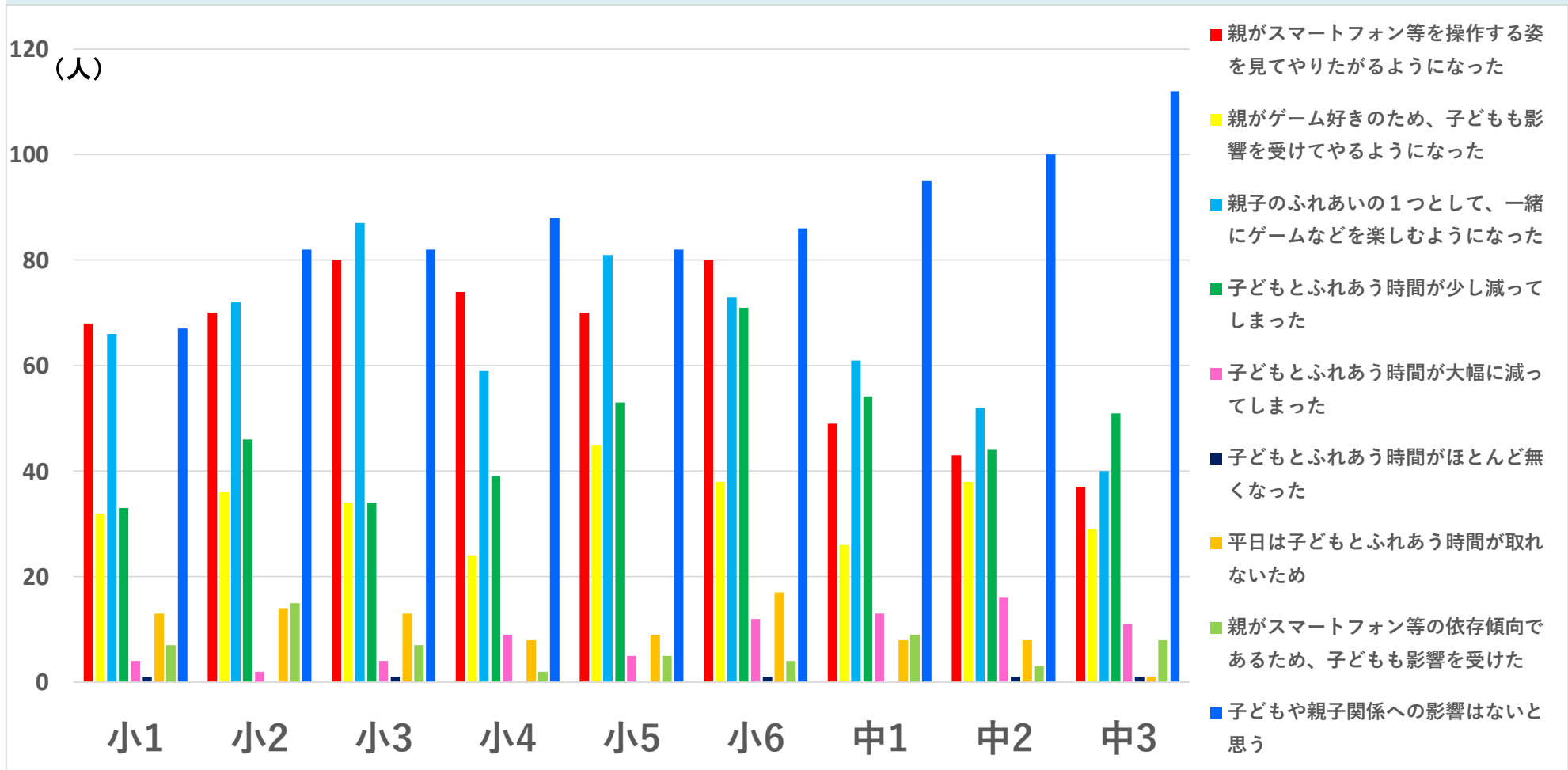
問⑫時間制限やアプリの制限など、ペアレンタルコントロールをしていますか？

(複数回答可)



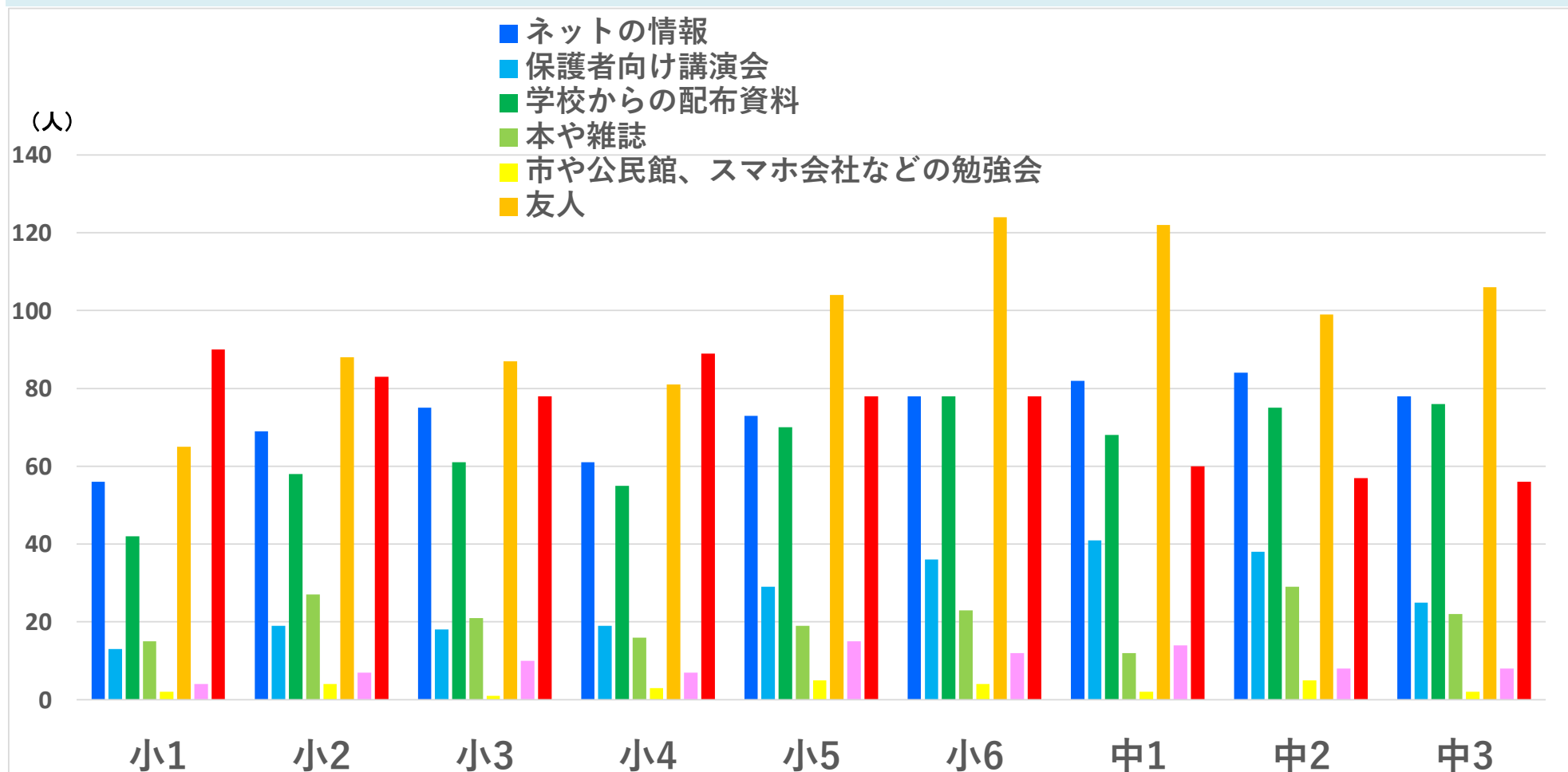
保護者の約7割が何かしらのコントロールをし「利用を制限している」が一番多い。「ペアレンタルコントロールはしていない」が回答数の約3割であることから、必要最低限の危機管理は親として、行ってほしいところである。

問⑬親のスマホ、タブレット、ゲーム機等の使用によって、子どもや親子関係への影響が出ていると思うことはありますか？
(複数回答可)



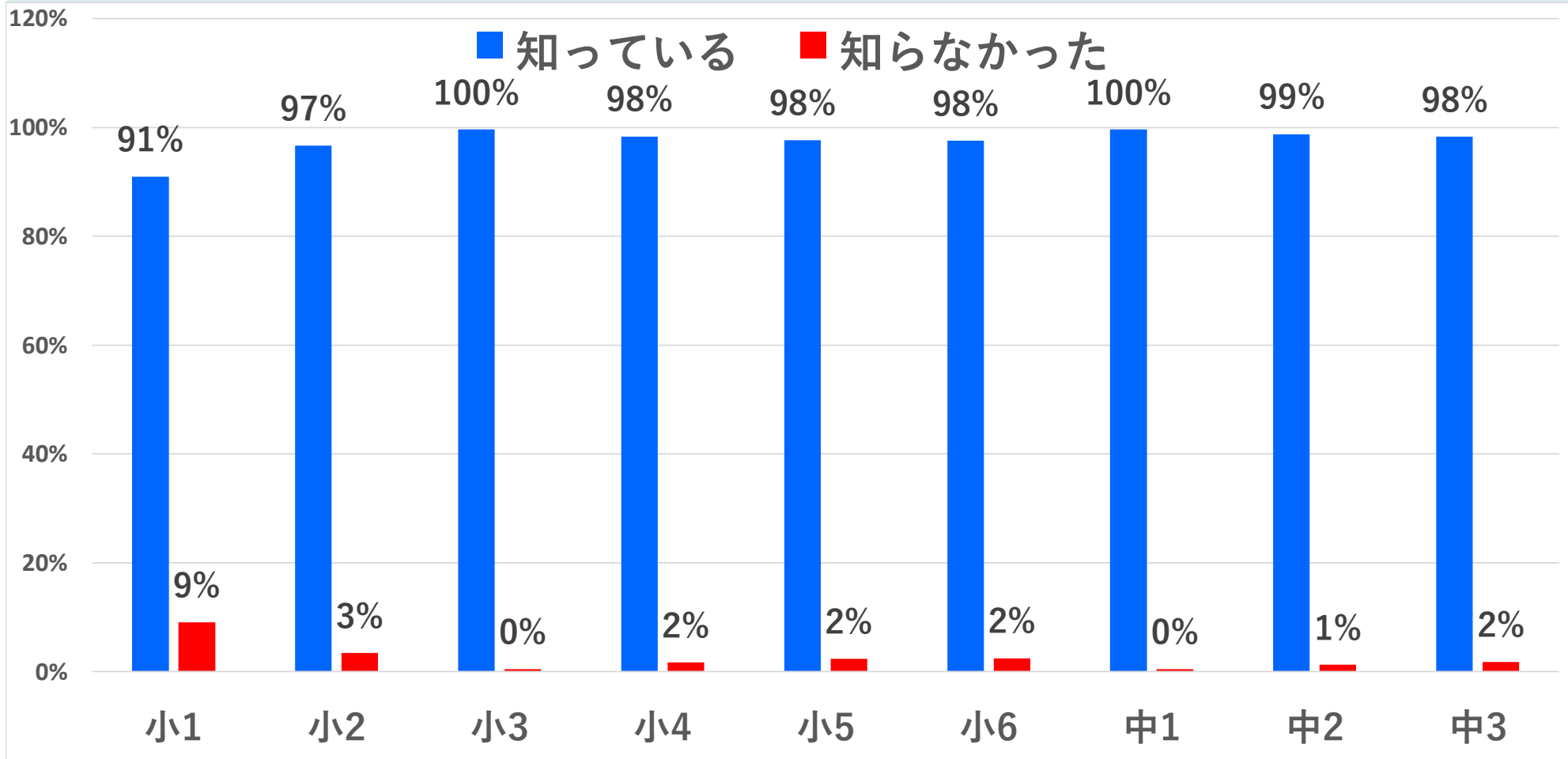
「影響はない」の回答が多い。影響があると感じている児童保護者は「親がスマホ等を操作する姿をみてやりたがる」が最も多い。親子のふれあいの1つとして活用することも多く、より良い親子関係づくりのために使い方を工夫していることがうかがえる。

問⑭お子様のスマホ利用について考えるときに参考にしたことはありますか (複数回答可)



各学年に「特になし」が多く見られる。講演会や勉強会など、多くの保護者に参考にしてもらえよう啓発していかなければならない。

問⑮野々市市では毎月第1水曜日を「NOネット、NOゲーム、NOテレビデー」としています。この取り組みをご存知ですか？



月に一度、インターネットやゲーム、テレビをやめて家族でゆっくり会話や読書を楽しむ日ですが、全体の9割以上の保護者はこの取り組みを知っていると回答。今後も更に取り組んでもらえるよう啓発を続けていく必要がある。